

**製品名: CA I ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07763**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	29kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CA1
別名	CA1; Carbonic anhydrase 1; Carbonate dehydratase I; Carbonic anhydrase B; CAB; Carbonic anhydrase I; CA-I
遺伝子 ID	759.0
SwissProt ID	P00915
免疫原	抗血清はヒト CA1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

**背景**

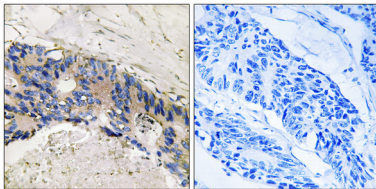
炭酸脱水酵素 (CA) は、二酸化炭素の可逆的な水和を触媒する亜鉛金属酵素の大きなファミリーです。呼吸、石灰化、酸塩基平衡、

骨吸収、房水、脳脊髄液、唾液、胃酸の生成など、様々な生物学的プロセスに関与しています。組織分布と細胞内局在は多岐にわたります。このCA1遺伝子は、8番染色体上のCA2遺伝子およびCA3遺伝子と密接に連鎖しています。この遺伝子は、赤血球で最も多く存在する細胞質タンパク質をコードしています。この遺伝子の対立遺伝子変異は、一部の集団で報告されています。選択的スプライシングによって、複数の転写産物変異が生じます。[RefSeq提供、2014年5月],触媒活性: $H(2)CO(3) = CO(2) + H(2)O$ .,補因子:亜鉛.,機能:二酸化炭素の可逆的水和.,類似性: $\alpha$ -炭酸脱水酵素ファミリーに属する.,

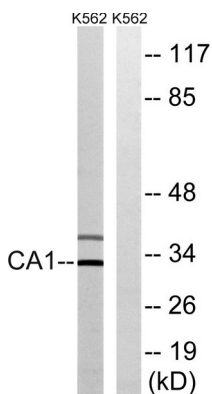
## 研究分野

窒素代謝;

## 画像データ



CA1抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CA1抗体を用いたK562細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。